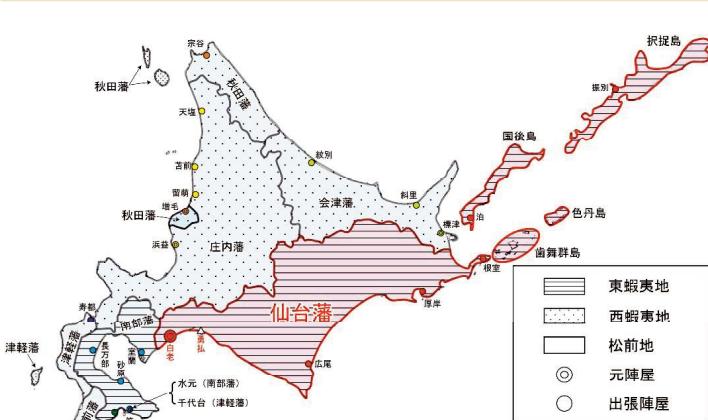


史跡白老仙台藩陣屋跡とは

史跡白老仙台藩陣屋跡は、近世末期に造営された仙台藩の蝦夷地における拠点となる元陣屋跡です。安政3(1856)年から、戊辰戦争が勃発した慶応4(1868)年までの12年間にわたり、西欧列強の進出に備えて警衛していました。



「史跡の本質的価値」とは

史跡が有する多様な価値のうち、史跡として指定される理由となった価値のことです。

史跡白老仙台藩陣屋跡は、「幕末北辺防備の遺跡」、「よく残る遺構」、「白老元陣屋を定める理由となった自然の要害」が本質的価値として、指定告示文に示されています。

1 幕末北辺防備の遺跡

幕府の命令を受けた仙台藩は、白老元陣屋を築き、西欧などの南下政策に備え警衛の任務に就きました。国元を偲び、故郷から移植した赤松や、亡くなった藩士たちの墓地が現在も残っています。



写真の社や鳥居は地域住民によって建て直されたものです。



仙台藩白老元陣屋資料館
(ガイダンス施設)

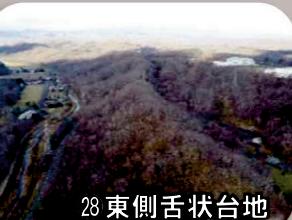
2 よく残る遺構

藩士たちは土塁や堀割を設け、いざという時に備えていました。陣屋内は内曲輪と外曲輪に分けられた土塁の形状や、藩士たちが居住した建屋の跡が、現在でも良好な状態で残っています。



3 白老元陣屋を定める理由となった自然の要害

白老元陣屋は海岸から1.5km離れた、河川や台地を天然の防壁として利用できる地形を選んで造られました。周囲では大規模な開発行為も行われていなかったため、現在でも特徴的で堅固な雰囲気に触ることができます。



本質的価値を示す遺構等

- | | | |
|---------|-------------|---------------------|
| ① 土塁 | ⑪ 四番長屋跡 | ㉑ 塩釜神社跡 |
| ② 堀割 | ⑫ 五番長屋跡 | ㉒ 愛宕神社跡 |
| ③ 太鼓橋跡 | ⑬ 稽古屋跡 | ㉓ 拝領記念石灯籠
(塩釜神社) |
| ④ 御本陣跡 | ⑭ 焰消庫跡 | ㉔ 拝領記念石灯籠
(愛宕神社) |
| ⑤ 御勘定所跡 | ⑮ 御本陣南の建物跡 | ㉕ フシコウトカンベツ |
| ⑥ 兵糧蔵跡 | ⑯ 二番長屋北の建物跡 | ㉖ ホリナリ跡 |
| ⑦ 御兵具蔵跡 | ⑰ 1号井戸跡 | ㉗ 西側舌状台地 |
| ⑧ 御馬屋跡 | ⑱ 2号井戸跡 | ㉘ 東側舌状台地 |
| ⑨ 二番長屋跡 | ⑲ 藩士の墓地 | |
| ⑩ 三番長屋跡 | ⑳ 藩士植樹の赤松 | |
| | | |